

冬ノ九裏

ければもし仙人へせんにな」などのよみ給ふにやと

尋行にわづかに一間へけん」ばかり庵へいほり」をむす

びてさま／＼の𦵏へあき」の草してふきかこ

ひたりうちに九十はかりなる僧我へそうが」

不愛身命但惜無上道へふあいしんみやうたんしやくむしやうだう」とうち上たり
かたみにあきれながらしばしありて

こはいかなる人の住へすみ」たまふにかととへば昔

郁芳門院へゆうはうもんゐん」の侍の長へちやう」なりしが院かくれさ
せたまひてのちやかて出家して